

住民意見交換会を受けて

当日の発言者の意見や、回収した意見記入用紙の内容から、審議会で特に検討すべきと考えるものをピックアップした。

(1) 新治小と本納小の統合について

No	発言・提出意見の趣旨	当日の回答	審議会での検討（事務局案）
1	本納小は老朽化しており崖も危険なので、使用するべきではない。プールも不便。	校舎の耐震化は済、崖は調査済である。長く使うのではなく、将来的には新設する。	
1-1	崖は災害時はどうなのか。	—	現在本納小を使用しており、平常時危険とは考えていない。
2	新治小を使うべきではないか。	新治小では教室数が足りない。グラウンドもやや手狭である。	
2-1	教室数は工夫で何とかできるのではないか。	—	本納小で設置している「ことばの教室」「特別支援学級」等考えると、極めて困難。
2-2	校舎を増設すればいいのではないか。新治分館跡地をグラウンドにしてはどうか。	—	将来的に3校統合し新設することを見据えれば、いま増設等することは考えられない。
2-3	本納の人でも新治小に行く方が良いという人が多い。	—	こちらで何人かに話を聞いたところ、多いとは考えていない。また、新設後とスクールバスのルートや時間などが大きく変わってしまう。
3	新設場所はどこになるか。あまり遠いのは困る。子ども園などと近くにあると良い。	決まってはいないが、本納中の近くという考えはある。	
3-1	新治に新校舎を建ててはどうか。	—	No. 3と同様に、豊岡から見ると遠すぎるので、本納中付近が望ましいと考える。
4	具体的な統合の時期はいつ頃か。	事務局では4年以内と考えている。	
4-1	新校舎を建ててからの統合が良い。	—	新治小の規模は極めて小さく、一刻も早い対応が必要である。
5	工業団地やニュータウンなどによる人口増加をどう考えているのか。それまで待つべきではないか。	不確定な要素が多く、現在の子どもたちのために早急を実施する。	
6	小規模校のメリットを活かす具体的な方策を示してほしい。	—	メリットが具体的に何を示すのか不明だが、学校や先生方の工夫で補うべきものである。逆に解消できるデメリットの方がはるかに多い。

(2) 二宮小と緑ヶ丘小の統合について

No	発言・提出意見の趣旨	当日の回答	審議会での検討（事務局案）
1	緑ヶ丘小を使う理由は何か。	一部遠くなる地域があるものの、使用できる教室数や新しさを考慮した。	
1-1	西陵中校舎を使っても良いのではないか。	—	緑ヶ丘小を使用の方が効率的である。
2	スクールバス等を検討していただきたい。	今後検討する。	※実際の通学路を聞いたところ、当初の予想と異なり、概ね4kmで収まらない地域がある。今後詳しく検討する。
3	富士見中付近に新設、小中一貫を考えてはどうか。	—	仮に豊田、二宮、緑ヶ丘、西を統合した場合、児童数が790人と過大になるため困難。
4	学童クラブはどこになるのか。二宮福祉センターを使えるのか。	今後担当部署と協議する。	

(3) その他

- ・適正規模は審議会で審議したものではなく、その前に教育委員会で決定したものである。
- ・統合時期について、事務的に来年とかは不可能で、どんなに早くても1年半、通常なら2年半はかかる。
- ・審議会では、スクールバスのルートや時間、スクールカウンセラーの設置、統合後の授業内容など、細かい点まで審議しない。また、実施計画にも細かく掲載しない。統合決定後に決めていく話である。